

Google Classroomを活用しよう



【PC版】

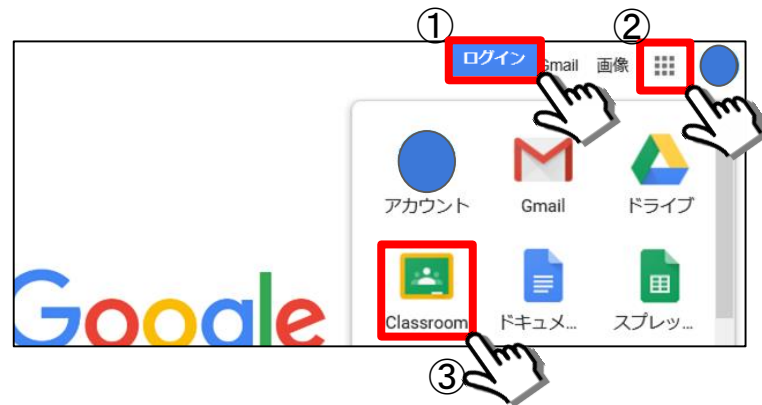
- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. Google Classroomの起動 | P 2 ~ |
| 2. クラスの作成 | P 4 ~ |
| 3. クラスに生徒を招待する | P 6 ~ |
| 4. Google Classroomの機能紹介 | P 9 ~ |



1 . Google Classroom の起動

1. Google Classroomの起動①

- ① 「Google」に「s tアカウント」でログインする
※「Google ドライブ」を利用可能なネットワークに限る
- ② 「Googleアプリ 」をクリックする
- ③ 「Google Classroom 」をクリックする



初回起動時のみ

- ④ 「続行」をクリックする
- ⑤ **【重要】** 「私は教師です」をクリックする
※「私は生徒です」ではクラスを作成することができません



2. クラスの作成

2. クラスの作成

- ① 「+」マークをクリックする
- ② 「クラスを作成」をクリックする
- ③ 「クラス名（必須）」を入力する 例：2年1組
「セクション（任意）」を入力する 例：HR
- ④ 「作成」をクリックする



3. クラスに生徒を招待する

- ・ クラスコードで招待
- ・ Googleメールで招待

3. クラスに生徒を招待する① ～クラスコードで招待～

① 「クラスコード」の表示ボタンをクリックする

② クラスコードを生徒に知らせる



生徒の参加方法 (PC版)

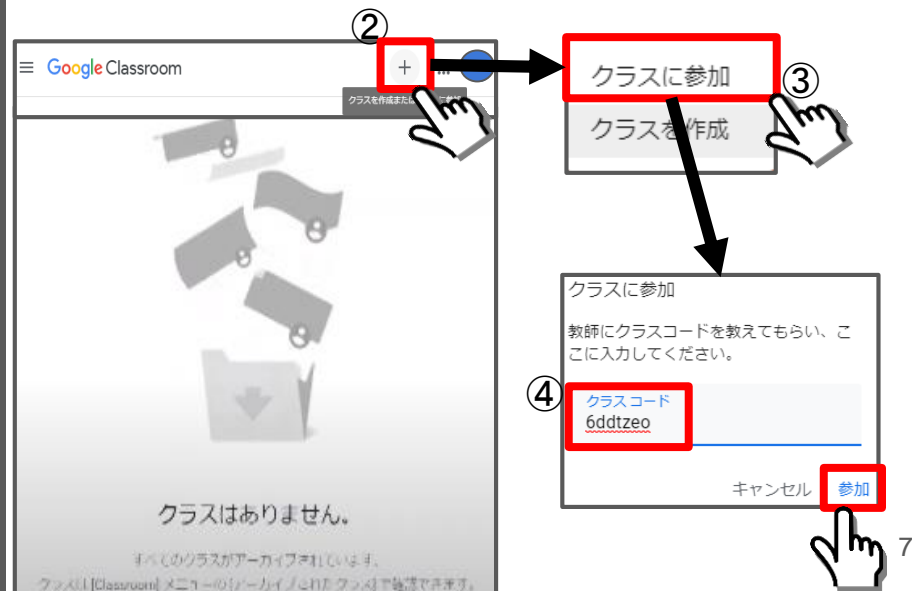
① 本マニュアル【P 3】の手順でGoogle Classroomを起動する

手順⑤については「私は生徒です」をクリックする【重要】


② 「+」マークをクリックする


③ 「クラスに参加」をクリックする

④ クラスコードを入力して「参加」をクリックする

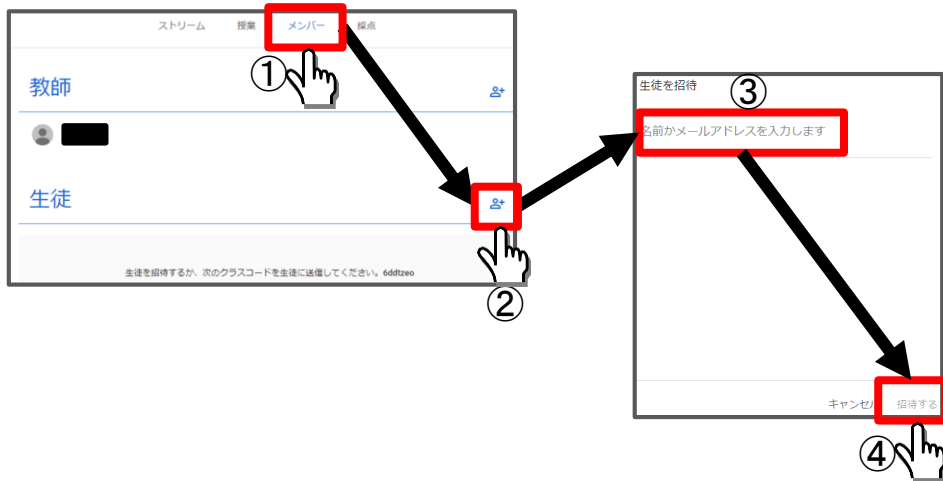


3. クラスに生徒を招待する②

- ①「メンバー」のボタンをクリックする
- ②「生徒」欄の「招待  」ボタンをクリックする

※「教師」欄の「招待  」は学年主任や副担任の先生、教科担当を招待する際に使用する

- ③ 生徒のメールアドレス (***.***.**@st.spec.ed.jp) を入力する
- ④「招待する」をクリックする



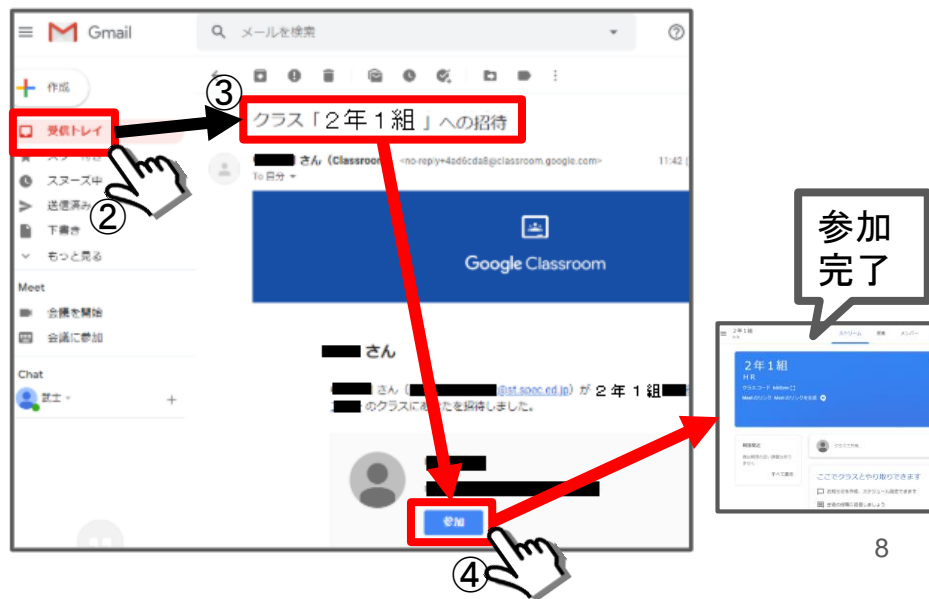
～Googleメールで招待～

生徒の参加方法 (PC版)

- ① 本マニュアル【P 3】の手順でGoogleメールを起動する

手順③で  をクリックする

- ②「受信トレイ」をクリックする
- ③ 先生からのメール「クラスへの招待」をクリックして開く
- ④ メール本文の「参加」をクリックする
初回のみ「**私は生徒です**」をクリックする【重要】



4 . Google Classroomの機能紹介

- ・「ストリーム」
- ・「授業」

4. Google Classroom ～画面構成～

- ①「ストリーム」
新着情報の確認ができる（連絡事項の確認や課題の出題状況の確認など）
- ②「授業」
課題を出題できる（課題や質問の作成など）
- ③「メンバー」
クラスに参加しているメンバーの確認ができる（教師〇人・生徒〇人）
- ④「採点」
②「授業」で課した課題や質問の点数を一覧で確認ができる
（採点・課題にコメントを追加・課題の返却など）
- ⑤「クラスコード」
クラスコードを表示する（生徒の招待に使用する）
- ⑥「Meetのリンクを生成」
Google Meet（ビデオ会議ツール）でオンラインHRをする際に使用する
- ⑦「クラスで共有」
連絡事項を投稿できる（投稿の予約やファイルを添付して投稿もできる）
投稿に対してコメントができる
- ⑧「設定 ⚙️」
ストリームの「クラスで共有」欄について
「生徒に投稿とコメントを許可」するか変更ができる



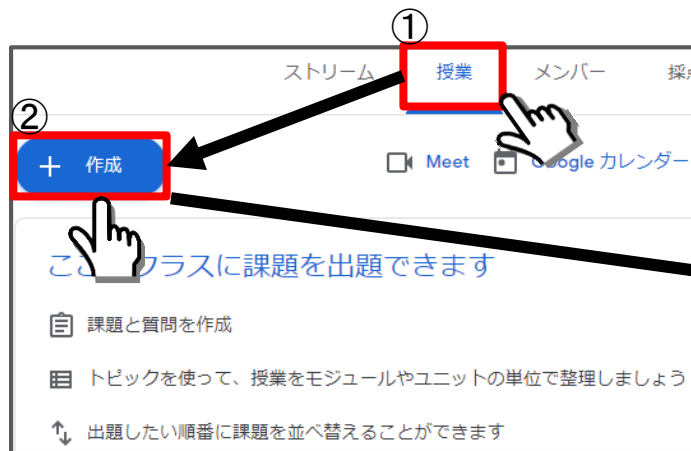
4. ストリーム ～生徒に連絡～

- ①「ストリーム」をクリックする 【クラスルームに参加しているメンバー「教師・生徒」全員に情報を共有する（掲示板）】
※「授業」タブで投稿された内容（課題等）も表記される
- ②「クラスで共有」をクリックする
- ③連絡事項を入力する
※必要に応じて「追加」ボタンをクリックして画像やリンク等を添付する
- ④「投稿」をクリックする
※必要に応じて「▼」ボタンをクリックして「予定を設定」による投稿の予約や「下書きを保存」を活用する

The screenshot illustrates the process of creating a stream post in Google Classroom. It is divided into two main panels. The left panel shows the Classroom home page with a red box labeled ① around the 'ストリーム' (Stream) tab and another red box labeled ② around the 'クラスで共有...' (Share with class...) button. The right panel shows the 'Compose' screen. A red box labeled ③ highlights the text input area where the message 'クラスで共有しましょう 7月15日(水) 持ち物 「体育館シューズ」 忘れないようにしましょう' is entered. Below this, a pink box labeled ③※ shows the '追加' (Add) button and a list of options: Google ドライブ, リンク, ファイル, and YouTube. At the bottom right, a pink box labeled ④※ highlights the '投稿' (Post) button and a dropdown menu with options: '予定を設定' (Schedule) and '下書きを保存' (Save draft). Arrows indicate the flow from step ① to ②, and from ② to ③, and finally from ③ to ④.

4. 授業① ～生徒に課題を出題～

- ①「授業」をクリックする【課題の作成や授業で使用する資料の提示・配布等が行える】
- ②「作成」をクリックする
- ③ 各項目については「表」の通りです【次のスライドで「課題」の作成例を紹介します】



③	
課題	← 課題の指示(課題の配布・提出)ができる
テスト付きの課題	← 課題の確認(テスト)を前提とした指示ができる
質問	← 一問一答ができる
資料	← 資料を示し情報共有ができる
投稿を再利用	← 過去の投稿を再利用できる
トピック	← 課題を分類(整理)できる

例)・授業スライド・宿題・配布資料 etc...

4. 授業② ～生徒に課題を出題～

- ①「授業」→「作成」→「課題」の順番でクリックする【前のスライド4-3授業①を参照】
- ②「タイトル」「課題の詳細（省略可）」を入力する
- ③既に課題のファイルがある場合は「追加」をクリックする
- ④ここで課題を作成する場合は「作成」ボタンをクリックする
例では 「追加」→「ファイル」で授業プリント（PDF形式）を添付
「作成」→「ドキュメント」で感想入力シート（ドキュメント形式）を作成して添付

- ⑤「感想入力シート」はテンプレートを配布し、生徒それぞれが入力をして提出するため「各生徒にコピーを作成」設定にする【重要】

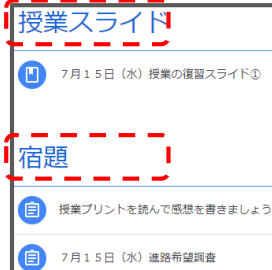
- ⑥課題の「点数」を設定する

- ⑦課題の提出「期限」を設定する

- ⑧「トピック」を（作成）指定する
生徒が課題を見つけやすくなります

例：授業スライド

- ⑨「課題を作成」をクリックすると投稿されます（ストリームにも表示されます）



課題作成画面のスクリーンショット。右側の「課題を作成」ボタンは赤枠で囲まれている。

課題の詳細入力欄（赤枠で囲まれている）：

- ② タイトル：授業プリントを読んで感想を書きましょう
- 課題の詳細（省略可）：150字以上

下部のボタン（赤枠で囲まれている）：

- ③ 追加
- ④ 作成

ファイル添付欄（赤枠で囲まれている）：

- ⑤ 授業プリント.pdf (PDF)：生徒はファイルを閲覧可能
- 感想入力シート (Google ドキュメント)：各生徒にコピーを作成

右側の設定欄（赤枠で囲まれている）：

- ⑥ 対象：2年1組 HR
- ⑦ 点数：100
- ⑧ 期限：7月22日(水) 17:00
- トピック：宿題
- ループリック：+ ループリック

4. 授業③ ～課題作成後の回答状況を確認～

- ①「授業」→宿題トピック「授業プリントを読んで感想を書きましょう」をクリックする
- ②「課題を表示」をクリックする
- ③ 生徒の回答状況を確認する



③

生徒毎に採点（得点の入力）ができる
課題の返却やコメントの送信もできる

